



TAKARAZUKA

神戸 YMCA 余島キャンプ 70 周年記念行事

余島シニアキャンプで再確認した “Try & Error” の心

福田宏子、

数か月前、同期のキャンプリーダーより「余島の現状」と題して数枚の写真が送られてきた。特にダッドレイ・キャビン付近の荒れた状況に打撃を受け、一抹の不安を抱いてのキ樹木に覆われた余島を目にしたときは、不安よりは安堵の気持ちのほうが強かった。

中秋の名月の数日前の月は、近くに木星、少し離れて土星を従え鎮座し、頭上高く神々しく光り輝き、夜の海を神秘的に照らし、夜空の月と星のショーに酔いしびれた。

翌日のカヌーでの余島一周は、漕ぎ方等の一切の指導は無く、この年になっての人生初の経験となった。

まさに “Try & Error” であり、「案ずるより産むが易し」である。今やIT技術が発達し、一瞬のうちに努力なしに情報等を得ることができようになった。

自ら、率先して試み、挑戦する姿勢の重要性を再認識した次第である。無論、7Kmの余島一周を漕ぎきることができたのは多いなる自信となり、得難い宝となったのは、言うまでもない。



YYY 余島シニアキャンプに参加して



武田寿子

神戸 YMCA 余島キャンプ 70 周年記念事業として、神戸 YMCA、ワイズメンズクラブ六甲部、余島キャンプリーダーOB・OG 会が共同で企画した 2 泊 3 日に参加してきました。前日からの台風襲来で、出発が少し遅れましたが、無事予定されたプログラムを楽しむことができました。3つの視点①神と出会い人と交わろうは、中道神戸 YMCA 理事長の礼拝説教を、波の音を聞きながら守ることができました。②明日のリーダーを今日作ろうでは、坂田ゼミに参加していた若者や、リーダートレーニングにきていたリーダーたちと交流でき、また③時代を超えてつながりあおうでは、BBQ や、キャンプファイアーにリーダーに参加していただき、交流をすることができました。プログラムのハイライトは気候変動をどのように食い止め持続可能は地球を残すことができるのかを、CI ジャパンの代表理事の、日比保志氏から学び、アウトドアプログラムでは、三田野外活動センターの所長、森本崇資氏とともに余島周辺をカヌーで一周し、世界一小さな海峡を渡りきるすることができました。また、余島の坂田所長からは力の受け渡しという重い言葉をいただきましたし、森本さんからはあなたはあと、何年生かれますか最初に投げかけられ、ふわふわ、うかうかと生きてきた自らの人生を改めて考えさせられました。でも、余島は不思議な島、60 年前のリーダーが返ってきても暖かく力よく受け止めてくれる魅力があふれています。まだ経験したことのない方次回はぜひ参加して余島の豊かな自然に触れ、神戸 YMCA が大切にしてきたキャンプというプログラムを体験してみてください。みんなで植えたオリーブの木をまた見に行きたいものです。この島を若い世代に残すために私たちシニアにできることは何なのかじっくり考えてみよう、でもあんまり時間はないのかもしれない！

余島キャンプ 70 周年記念植樹



多胡葉子

余島キャンプは 1950 年から子ども達を対象としたキャンプが始められ昨年
年で 70 年を迎える。

シニアキャンプの開催の目的の一つにもなっていた記念植樹である。

食堂の横の小高い場所に小豆島のシンボルの一つでもあるオリーブの木の
植樹を六甲部ワイズが中心となって行った。

この植樹の費用は余島 70 年の記念にと六甲部各クラブから出された。そし
てその行事を今回参加している各クラブからのメンバーによって鍬入れ式が
行われ植えられた。

余島キャンプがこれからも未来に
向けたキャンプ活動の場としての
働きを心から願って平和と知恵の
シンボルであるオリーブの木の植
樹であった。



余島シニアキャンプ（カヌー体験）

鯖尻佳子

台風が心配されていた余島シニアキャンプでしたが、午後からのフェリーに乗り、無事に余島に到着しました。皆さん余島キャンプ経験者で私は全くの初めてで心配しましたが、皆さんが温かくて充実した3日間を過ごすことが出来ました。今までカヌーは



怖くて乗るのをためらっていましたが、皆で漕げばこんなに楽しいものかと当初予定されていたルートを延長して7キロも漕いでいたようです。世界一狭い海峡を通ることも出来ました。上陸してちょっと休憩、その時頂いたクリームパンの美味しかったこと！三田野外センター所長でカヌーリーダー森本崇資さんの「貴方はあと何年生かれますか？」の言葉にドッキリ！一日一日を又人との出会いを大切に生きていかなくてはと目の覚める思いで聞いておりました。

「人と出会い、神と交わり、愛の火の燃えるところ」この礎の言葉が心に沁みわたります。年代を越えた若いリーダー達の交流、またいろいろなワイズメンとの交流も楽しくまた訪れてみたいと思う余島キャンプでした。

